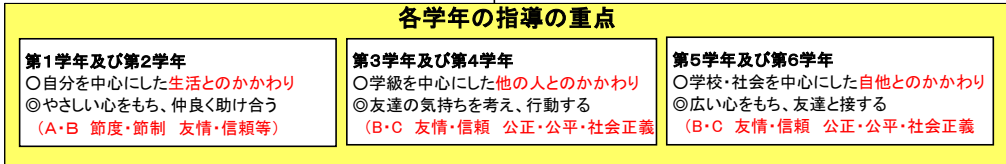


学校の道徳教育の重点目標
 ○道徳的価値についての理解に基づいて、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学習を通して**道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度**を育てる。



各教科

- 国語**
国語を尊重する態度を養い、相手の気持ちを考えて適切に伝え合う力を養う。
- 社会**
社会生活への理解と我が国の伝統文化を尊重する態度、国際協調の精神を養う。
- 算数**
筋道を立てて考え、合理的な生活しようとする態度を育てる。
- 理科**
自然を大切にしようとする態度及び生命を尊重する態度を育てる。
- 生活(令和4年度～校内研究)**
身近な人や社会、自然とのかかわりを通して、自立心を養う。
- 音楽(※課外活動・金管バンド)**
音楽活動を通して豊かな感性を養う。
- 図画工作(学習発表会 2月)**
造形活動を通して豊かな感性を養う。
- 家庭**
家族の一員として生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- 体育(運動会 6月)**
健康の保持増進と体力の向上を図り、豊かな生活を営もうとする態度を育てる。
- 外国語**
話すことや書くこと等による、実際のコミュニケーションの基礎的な力を育てる。
- 読書科**
探究的な学習等を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育てる。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年	B 親切、思いやり B 礼儀
2年	B 友情、信頼 A 正直、誠実
3年	B 友情、信頼 C 規則の尊重
4年	B 親切、思いやり C よりよい学校生活、 集団生活の充実
5年	B 相互理解、寛容 C 公正、公平、社会正義
6年	B 相互理解、寛容 C 公正、公平、社会正義

指導方針
 ○学校の教育活動全体を通じて、児童一人一人が道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、よりよく生きていくための**道徳性**を育成する。

指導の工夫・研修の工夫

- 道徳の時間の特質を生かした指導
導入・展開・終末の工夫
- 多様な学習指導の工夫
・教科書を活用した指導
・多様な読み物教材を生かした指導
・体験の生かし方を工夫した指導
・各教科等と関連をもたせた指導
・ICTを活用した指導
- 道徳の時間に生かす指導方法の工夫
・教材を提示する工夫・発問の工夫
・話し合いの工夫・表現活動の工夫
・書く活動の工夫・説話の工夫

外国語活動

言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

総合的な学習の時間(令和4年度～校内研究)

自己を振り返り、自分らしさを生かそうとする態度を育てる。

特別活動

学級活動
学級内での望ましい人間関係をつくり、健全な生活態度を身に付ける。

児童会活動
学校の一員としての役割や責任を自覚し、協力して自発的・自治的に活動する。

クラブ活動
同好の児童が集まり、協力して活動することにより、人間関係を深めるとともに創意ある活動への意欲を高める。

学校行事(縦割り班活動 竹馬活動 2学期)
集団の中での個人の在り方や協力・責任・勤労等の大切さを認識する。
なかよし班活動や全校遠足
大杉東小学校の特色である
竹馬活動(運動会)の活用(11月)

つながり
(補充・深化・統合)

つながり
(補充・深化・統合)

生活指導・特別支援教育(拠点校)
道徳教育で学んだ「人間としての在り方」を日常生活中で生かし、実践できる児童の育成を図り、個に応じた指導・支援の充実を図る。

環境整備
温かい教育環境の整備・充実を図る。
・掲示物の工夫と充実
・学習材の整備・充実
・「今週のめあて」の具現化

家庭・地域との連携
・保護者会や学校・学年便り等の充実
・授業参観の充実・外部評価の活用
・道徳授業地区公開講座の充実

推進体制
校長の方針の下、学校が組織体として一体になり全教師が道徳教育を進める。道徳推進教師を中心に全教育活動を通じて補充・深化・統合(適切なつながり)する。